

防ごう！ガス器具による事故

しょうぼうの広場

火災、救急、救助は...

119

ガスは便利で私たちの生活になくってはならないものですが、取り扱いを誤ると火事や爆発などの大きな事故につながります。また、不完全燃焼によって発生する「一酸化炭素中毒事故」も命にかかわる大きな社会問題となっています。

そこで、ガスを使うときには次の点に注意し、ガスによる火事や事故を未然に防ぎましょう。

正しい取り付け

ガスコンロを柱や壁に近づけて使用すると、壁面等を熱に強い材料で覆っていても、内部の木材が炭化して、低温でも発火することがあります。柱や壁などからできるだけ離して使用してください。

こんろは壁から15cm以上離すようにしましょう。



正しい取り扱い

① 揚げ物をしている際の火災が多く発生しています。揚げ物をする際は絶対にその場を離れず、またどうしても離れる場合は、たとえ短時間でもコンロの火を必ず消してください。

② コンロの周囲は、整理・整頓に努め、燃えやすい物に火が燃え移らないように注意してください。

こんろのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう！



十分な換気

① 空気が不足すると不完全燃焼を起こし、有害な「一酸化炭素」が発生するので大変危険です。換気扇を回す、窓を開けるなどして換気に努めてください。

② 屋外の排気筒が外れていたり、鳥が巣を作るなど物が詰まった状態だと不完全燃焼が起きます。異常を感じたらすぐに専門業者に相談してください。

ガス漏れ時の注意点

ガス漏れなどの異常に気づいたときは、まずガスの元栓を閉め、「窓を開けて換気」

をしてください。またその際には換気扇・電灯等のスイッチやコンセントプラグには触れないでください。火花が発生し、爆発を起こす可能性があります。あり危険です。



お願い

先の豪雨災害での避難生活に伴い、119番通報時に場所を伝える際、あわてて被災した自宅の住所を伝えただめに、出勤や現場への到着が遅れることが懸念されています。

そこで避難先から119番通報される際には次の点に注意してください。

☆「避難先の住所や世帯主、または目標物」で通報してください。

☆落ち着いて話し、係員の指示に従ってください。

消防一口メモ

薬剤を使える救急救命士誕生

9月1日から、薬剤投与の講習と病院実習を修了し、認定された救急救命士により、救急現場で薬を使うことができるようになります。

※今のところ薬剤を使える認定救急救命士は1名です。使用できるのは心臓も呼吸も停止している患者さんに限定され、さらに「医師の指示」を得て使用することができます。また使用できる薬品もいわゆる「強心剤」1種類となっています。

7月の救急・火災情報



救急		火災	
◆ 出動件数	111件	◆ 発生件数	1件
◆ 運んだ人	113人	◆ 内訳	
◆ 内訳		建	物
病	55件		1件
交通事故	52人		
その他	9件		
	47件		
	53人		